

お米と。あなたと。



2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 木徳神糧株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2700 URL <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員COO (氏名) 竹内 伸夫
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理部門統括 (氏名) 稲垣 英樹 (TEL) 03-3233-5121
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 2022年9月16日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	53,944	△0.9	810	119.0	831	94.3	708	96.0
2021年12月期第2四半期	54,442	0.7	370	222.5	428	151.4	361	108.0

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 1,182百万円(39.9%) 2021年12月期第2四半期 844百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	436.99	—
2021年12月期第2四半期	222.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	27,990	11,718	40.8
2021年12月期	29,863	10,579	34.6

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 11,430百万円 2021年12月期 10,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年12月期	—	25.00			
2022年12月期(予想)			—	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年12月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 10円00銭(創業140周年記念配当)

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	△4.5	1,000	90.0	1,050	70.9	900	78.2	555.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期2Q	1,706,000株	2021年12月期	1,706,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期2Q	85,765株	2021年12月期	85,663株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期2Q	1,620,297株	2021年12月期2Q	1,620,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策がとられる中で回復の動きが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢に端を発する資源価格や穀物価格の世界的な高騰、急速な円安の進行、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念等、経済環境の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する食品流通業界におきましては、まん延防止等重点措置の解除により外食需要が持ち直したものの、エネルギーや食品の価格上昇による先行きへの不安から消費者の節約志向は根強く、依然として厳しい状況が続いています。

当社グループの主力である米穀事業においては、豊作が続いたことによる供給過剰が継続し、国内の米穀取引価格が下落傾向で推移しているなか、コンビニエンスストアを中心に中食向けの販売は堅調であり、行動制限が解除されたことで外食需要が回復傾向にあったものの、量販店における家庭用向けの販売数量が低調に推移したこと等により、売上高は53,944百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

また、損益面では、生産や流通に関するコストが上昇しているなかで、米穀在庫の適正化及び仕入ルートの複雑化を推進し、原料調達や提案営業において優位性を実現したこと等から、営業利益は810百万円(前年同期比119.0%増)、経常利益は831百万円(前年同期比94.3%増)となりました。また、保有する投資有価証券の一部売却を行ったことによる特別利益の計上があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は708百万円(前年同期比96.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は27,990百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,873百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加額1,802百万円、その他流動資産の増加額637百万円等に対し、受取手形及び売掛金の減少額1,158百万円、棚卸資産の減少額1,244百万円、前渡金の減少額2,041百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が16,271百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,012百万円の減少となりました。これは主に短期借入金の減少額1,338百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少額1,459百万円、未払金の減少額310百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が11,718百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,138百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加額664百万円、繰延ヘッジ損益の増加額431百万円、為替換算調整勘定の増加額61百万円等があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、2022年4月22日発表の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848,892	3,651,770
受取手形及び売掛金	8,888,020	7,729,080
商品及び製品	3,634,502	2,650,349
仕掛品	332,601	334,100
原材料及び貯蔵品	3,971,858	3,710,253
前渡金	2,228,344	186,630
未収入金	202,831	489,763
その他	185,062	822,454
貸倒引当金	△12,865	△8,286
流動資産合計	21,279,248	19,566,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,599,274	1,551,058
機械装置及び運搬具(純額)	981,997	981,317
土地	2,077,668	2,077,668
リース資産(純額)	68,638	57,928
その他(純額)	23,170	28,925
有形固定資産合計	4,750,749	4,696,897
無形固定資産		
ソフトウェア	53,659	47,437
リース資産	52,926	44,569
その他	22,677	34,912
無形固定資産合計	129,264	126,920
投資その他の資産		
投資有価証券	3,320,904	3,215,513
長期貸付金	155	—
長期前払費用	21,596	20,631
差入保証金	341,277	342,836
その他	21,368	21,422
貸倒引当金	△839	△315
投資その他の資産合計	3,704,463	3,600,087
固定資産合計	8,584,476	8,423,905
資産合計	29,863,725	27,990,022

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,094,473	3,791,959
短期借入金	7,341,961	6,003,651
1年内返済予定の長期借入金	3,047,296	2,378,842
リース債務	38,133	38,133
未払金	1,139,741	829,360
未払法人税等	123,018	341,793
賞与引当金	187,204	277,343
その他	493,875	446,258
流動負債合計	16,465,705	14,107,343
固定負債		
長期借入金	2,238,460	1,447,005
リース債務	83,432	64,365
繰延税金負債	238,486	392,386
役員退職慰労引当金	149,381	154,062
資産除去債務	78,235	78,386
その他	30,427	28,418
固定負債合計	2,818,422	2,164,625
負債合計	19,284,128	16,271,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	380,174	380,174
利益剰余金	9,148,224	9,812,847
自己株式	△288,280	△288,722
株主資本合計	9,769,618	10,433,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555,671	496,102
繰延ヘッジ損益	40,169	471,858
為替換算調整勘定	△32,878	28,306
その他の包括利益累計額合計	562,963	996,268
非支配株主持分	247,015	287,986
純資産合計	10,579,597	11,718,053
負債純資産合計	29,863,725	27,990,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)
売上高	54,442,785	53,944,448
売上原価	51,422,162	50,376,341
売上総利益	3,020,622	3,568,107
販売費及び一般管理費	2,650,470	2,757,380
営業利益	370,151	810,727
営業外収益		
受取利息	1,302	1,523
受取配当金	91,022	88,245
受取保険金	1,726	5,358
不動産賃貸料	13,883	14,160
貸倒引当金戻入額	1,426	5,350
その他	15,873	22,348
営業外収益合計	125,235	136,987
営業外費用		
支払利息	31,275	30,515
不動産賃貸費用	3,860	3,714
為替差損	21,218	65,761
その他	10,800	15,733
営業外費用合計	67,154	115,724
経常利益	428,232	831,990
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	188,683
補助金収入	—	11,693
特別利益合計	—	200,378
特別損失		
固定資産除却損	0	584
投資有価証券評価損	626	—
特別損失合計	626	584
税金等調整前四半期純利益	427,606	1,031,784
法人税、住民税及び事業税	59,699	329,041
法人税等調整額	6,045	△9,020
法人税等合計	65,744	320,020
四半期純利益	361,861	711,763
非支配株主に帰属する四半期純利益	639	3,704
親会社株主に帰属する四半期純利益	361,222	708,059

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	361,861	711,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361,512	△59,569
繰延ヘッジ損益	80,713	431,689
為替換算調整勘定	40,813	98,451
その他の包括利益合計	483,038	470,571
四半期包括利益	844,900	1,182,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	828,801	1,141,364
非支配株主に係る四半期包括利益	16,098	40,970

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引について、従来は有償支給した支給品等に係る収益を認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。また、顧客への財またはサービスの提供における役割が代理人に該当する取引について、従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当社グループの役割が代理人に該当する取引については、純額で収益を認識する方法に変更しております。さらに、従来は販売費及び一般管理費に計上していた一部の費用について、顧客に支払われる対価として、売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。